

◆共生ビジョン懇談会意見等検討状況

資料5

No.	分類	取組項目	意見等の概要	意見等に対する考え方		作業部会	現在の検討状況(R5.6.20現在)		
				①取扱区分	②考え方		①取扱区分	②考え方	③備考
1	1-1 医療	(1)救急医療体制等の確保	【令和3年度第1回共生ビジョン懇談会】 十勝全域を対象とする2次救急医療体制の新たな枠組みの構築に向けた協議が必要である。その上で、3次救急を担う救命救急センターの充実に必要な運営支援を継続するとともに、帯広市内の2次救急を担う医療機関に対しても、各市町村からの財政支援などの見直しを再度求める。また、コロナ禍にあるが、十勝総合振興局が主催する「病院群輪番制に係る課題検討会」の開催状況や協議内容の報告が必要である。	ウ) 継続協議	十勝総合振興局と進捗の検討や情報共有を図っていたところ、昨年末からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、作業が滞っている現状にありますが、新型コロナウイルス感染症が及ぼす影響の検証が必要と考えているところであります。2次救急医療体制の維持確保のため、引き続き、十勝総合振興局を中心とした関係機関等と連携・協力し、検討を進めてまいります。	医療・福祉	ウ) 継続協議	これまで、十勝総合振興局を中心とし検討を進めてきたところでありますが、現在、2次救急医療体制を維持していくための手法等について、帯広市と各町村で協議しているところであり、早期実施に向けた検討を進めてまいります。	
2	1-1 医療	(2)地域医療体制の充実	【令和3年度第1回共生ビジョン懇談会】 病診連携の推進や不足する医師・看護師の確保に関して協議・検討する場の設置が検討されている。しかし、コロナ禍にあり、現在も未開催で、開催に向けての情報共有や協議も行われていない状況にあり、今後の見直しについて報告が必要である。	ウ) 継続協議	昨年末からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、検討の進捗が滞っている現状にあります。医師会や関係機関との協議に向け、新型コロナウイルス感染症が及ぼす影響や今後の対応の在り方などについて、改めて整理・検討してまいります。	医療・福祉	ウ) 継続協議	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、検討の進捗が滞っている現状にあります。令和5年5月8日以降、感染症分類が「2類相当」から「5類」に移行されたところであり、新型コロナウイルス感染症が及ぼした影響や今後の対応の在り方など、医師会や関係機関との協議に向けて改めて整理・検討してまいります。	
3	1-6 防災	(1)地域防災体制の構築	【第3期共生ビジョン策定時】 防災訓練等を通じた防災意識の普及啓発を拡充しているが、町村単位の防災訓練はすでに行っており、広域の防災訓練を企画したほうがよい。	ウ) 継続協議	大規模災害時における相互応援体制が、実際に機能するものとなるよう、災害用備蓄品などの各市町村の状況を共有するなど、具体的な協力体制の構築を図り、訓練を含めた連携のあり方を検討してまいります。	企画	エ) 定住自立圏の取組としての協議対象から除く	災害時には市町村が連携して迅速な情報共有を図ることが重要であると考えております。圏域の市町村と防災機関をオンラインでつなぎ、災害時に迅速な情報共有を図る体制を構築し、運用しているほか、北海道の「北海道防災情報システム」により、災害等に関する情報を一元管理し住民へ発信するなど、広域防災の取り組みが強化されています。今後も、圏域の防災力の向上に向け、引き続き、構成市町村の防災力を高めるとともに、相互支援に取り組んでまいります。	

○意見等に対する考え方 取扱区分

ア) 共生ビジョンに盛り込み済
イ) 共生ビジョンを変更
ウ) 継続協議
エ) 定住自立圏の取組としての協議対象から除く

○現在の検討状況 (R5.6.20現在) 取扱区分

ア) 令和5年度から実施
イ) 令和6年度以降に実施
ウ) 継続協議
エ) 定住自立圏の取組としての協議対象から除く